2018-19年度 BARRY RASSIN RI会長テーマ
「インスピレーションになろう」

インスピレーションになろう

2018-19年度 仙台泉R.C.斎藤正人会長テーマ
「変化を生み 行動から粋で活気あるクラブに」

●例会場 江陽グランドホテル
TEL 022-267-5111(代)
●例会日 毎週木曜日 18:30-19:30
●事務局 仙台市青葉区本町 2-3-1
江陽グランドホテル内
TEL 022-267-5252 FAX 022-267-5265
E-mail : izumi.rc@theia.ocn.ne.jp
HP : http://sendai-izumi-rc.org/
会報担当 鷲尾光男会員(9月6日発行)

2018/8/9（木）第2284回例会 SAA 野村佳生会員

Rotary Club of Sendai Izumi

＜ゲスト＞ 仙台市泉区長 鈴木 昭 様

＜会務報告＞ 小池 康浩幹事

田中ガバナー事務所様より RYLAのご案内拝受 10/20（土）10/21（日） 岩手県立県南青少年
仙台宮城野RC様より 在仙11RC親善ゴルフ大会開催のご案内拝受 11/3（土） 仙台カントリー倶楽部
8：15スタート 参加費５千円 申込み締切9/28（金）迄
会報拝受 仙台RC・仙台北・仙台西RC様より

＜卓 話＞ 泉区のまちづくり

仙台市泉区長 鈴木 昭 氏

泉区における主な課題

①人口増加数の鈍化

仙台市の北部拠点として成長を続けてきた泉区においても、人口の減少傾向が見られ始めている。他地域の発展に伴い、泉中央地区のにぎわいが相対的に薄れてきている。

②中山間地の活力低下

・高齢化、担い手不足による農産業の衰退
・少子化による将来的な地域維持が困難
・秋保、作並地区と比較し、観光資源や特産品開発などの地域資源の利活動が不足

③ 郊外団地住民の高齢化

・団地開発時に居住を始めた住民の高齢化が一斉に進行(仙台市で一番高い高齢化率)
・若い頃には気にならなかったことが徐々に問題となっている。

課題解決への取り組み

1.ふるさと支援担当職員の配置（地域の特性を踏まえ、多様化する地域課題にきめ細かく対応した地域づくりを、地域団体との協力により推進し、市民力を生かした地域活性化を行う。

2.ふるさと底力向上プロジェクト（泉中央地区活性化事業）
いず・ちゅう祭りを市民全体のイベントにリニューアルし、市民参加・観客増加につなげるとともに、事業者が企画する時節に応じたイベントと連携することにより、泉中央地区の賑わい創出と集客力向上、消費額の増加を図る。

3.ふるさと底力向上プロジェクト（郊外居住地区の課題対応事業）
助成制度の活用などによる、活動団体の取り組み推進を支援するとともに、活動事例作成、交流会によるノウハウ共有や活動開始のきっかけを創出し、地域団体の継続的な活動の担い手の育成・確保を図る。

4.ふるさと底力向上プロジェクト（泉西部地区活性化事業）
インバウンド獲得を含めた地域内外への情報発信に取り組むとともに、体験型観光による地域資源の認知度向上を図る。また、他地区との連携強化を進め、交流人口拡大と地域消費額の増加につなげる。

＜ニコニコボック＞

斎藤正人会長 泉区長 鈴木様のご来会と卓話に感謝致します。
菅原裕典会員 泉区長 鈴木様卓話を有難うございます。宮城県骨髄バンク理事長になりました宜しくお願い致します。
髙橋 渉会員 長男無事旅立ちました。有難うございます。
以下同意文にて 及川・大垣・影山・加藤・鎌田(一)・菅野（耕）・菅野忍・菊地・小池・佐藤昇・沢崎・菅原（貫）菅原（裕）・髙橋・照井・時・中嶋・前田・三浦（宏）・三浦一・鷲尾（広）各会員
今回28,000円 今年度累計 198,000円

出席率報告 7月 86.5%

第2285回　移動例会　楽天観戦

8/22（水）今年で、二回目となりました楽天野球観戦例会を開催。（楽天イーグルス対オリックスバッファローズ戦）たいへん蒸し暑い中でしたが、ガバナー事務局のお二人にもご参加頂き、沢山の水分、アルコール補給をしながらの楽しい一時となりました。

大根の種まき

8/26（日）9：30～10：30　斎藤文雄会員の畑をお借りし、泉手をつなぐ親の会の皆様と、大根の種まきを行いました。種まきから間引き、収穫の一連の活動を通して、農作業の喜びを感じて頂く事ができると思います。斎藤文雄会員には何かとお世話になり大変ありがとうございました。

秋の収穫が楽しみです。

2018-19年度　青少年交換（長期）来日

2520地区には、今年度4名の留学生が来日しました。当クラブでは「Aneel James GAHIR」くんのホストクラブとなりました。アニール君はミシガン州出身の15歳。聖ウルスラ学院英智高等学校2年生として、一年間日本語や日本文化について学びます。皆様どうぞ宜しくお願い致します。